平成29年9月13日発行
第31号（通巻142号）
一般社団法人　茨城県旅行業協会
水戸市城南2－8－38
常磐第一ビル3階
電話　029-225-2641
FAX　029-225-2505

IBARAKI Travel Agents Association 茨城県旅行業協会

かわら版

第2回理事会　報告

9月11日（月）母畑温泉八幡屋　会議室
出席理事監事・15名
欠席監事・1名

報告事項
1、関係団体報告
7/11国体実行委員会第2回総会・7/12立入検・7/18ホテル三日月葬儀出席、7/20、JTBとの国体関係打合せ、7/28（一社）茨城県観光物産協会臨時理事会、8/4横島交通様葬儀出席、8/22第2回茨旅協三役会、9/3国内旅行業務取扱管理者試験、9/7国体第5回配宿部会、9/9江戸屋様と国体関係配宿について打合せ
2、（一社）全旅協及び関東地方支部長連絡会
7/29国内観光活性化フォーラムinこうち検討、自民党党員募集要請があった
3、㈱全旅関係
8/4取締役会、クーポン会入会促進、自治体が行うツアー、ボランティアツアーについて
4、第2回茨旅協三役会
8/22第2回理事会、9/11茨旅協賛助会合同理事会及び合同総会について検討
5、旅行業法に基づく立入検査の実施について
6、会員の動き　…以上報告がされた

審議事項
1、茨旅協・全旅協入会申請について
2社の承認がされた
2、平成29年度茨旅協賛助会合同理事会及び合同総会について
理事会、業務企画委員会で検討し、承認された
3、平成29年度会員研修会について　…承認された
4、平成29国内、海外研修について
国内研修「国内観光活性化フォーラムinこうち」とする
海外研修については実施しない　…承認された
5、徳島研修について
全旅協支部で千葉、茨城、山梨連合で研修を実施について協力する　…承認された
6、任意保険（旅行傷害保険）について
会員がお客様へ任意保険(国内)を取扱いできるよう準備をする。再検討部分を見直し　…承認された

※次回理事会　平成29年11月1日（月）
※第2回業務企画委員会　9月28日（木）
※第2回総務財務委員会　10月12日（木）
※平成29年度中間業務会計中間監査会　10月17日(火)

＊茨旅協賛助会合同理事会報告＊　出席者茨旅協理事監事15名　賛助会理事19名

平成29年9月11日(月)　母畑温泉　野幡屋会議室に於いて合同理事会を開催致しました。今回の合同理事会の主な議題としましては、旅行業と観光業の動向について認識し、平成29年茨旅協賛助会合同総会を意義のある総会にするために賛助会理事様にご意見をいただきたく合同理事会を行いました。来年の総会は協会65周年にあたり、新しい企画で実施する予定で考えております。　賛助会会員様の出席に対し、協会会員様の出席数が少ないので是非皆様ご出席下さいますようお願いいたします。

≪ご確認下さい！≫

■新旅行業法（平成29年改正）について

平成29年法律第50号として6月2日に公布されました(以下「新旅行業法」)施行日を平成30年1月4日とする政令が公布されます。　詳しくはＡＮＴＡ NEWS ９・１０号(vol236)Ｐ8～10をご参照下さい。

■観光庁より「自治体が関与するツアー実施に係る旅行業法上の取扱いについて」のQ&Aが追加されました。
http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000107.html　ＡＮＴＡ NEWS ９・１０号(vol236)Ｐ10～11をご参照下さい。
HPの一番下に参考資料としてQ&Aが追加されています。
《一部抜粋》↓
問３．今回の通知で明確化されたのは、自治体が実施するツアーのみでしょうか。自治体が出資するような外郭団体や独立行政法人などはこの対象とならないのでしょうか。
答．旅行業法の適用の有無について、自治体の場合は営利性、事業性がなく、旅行業法の適用を受けない蓋然性が高いため、今回は地方自治体が実施するもののみを明確化しました。なお、上記のとおり、旅行業法の適用の有無は営利性、事業性から総合的に判断されるため、外郭団体や独立行政法人についても総合的に判断されるのが適当と考えます。

問４．教育委員会、公益法人、NPO、商工会等が実施するツアーは、旅行業法の適用を受けるのでしょうか。
答．教育委員会は地方教育行政機関であり自治体と同様に考えられます。その他の主体は自治体ではないので、旅行業法の適用を受けるか否かは、営利性、事業性の有無について総合的に判断することが必要となります。

問５．自治体がツアー実施に伴う業務の一部を旅行業者ではない民間業者等に委託する場合は、旅行業法の適用を受けるのでしょうか。
答．自治体がツアー実施に伴う業務の一部を業者等に委託する場合で、自治体が実質的に旅行の企画・運営に関与し、かつ営利性、、事業性がないと総合的に判断される場合は、旅行業法の適用を受けません。

問６．自治体の後援や補助を受けてＮＰＯ等がツアーを実施する場合は、旅行業法の適用を受けるのでしょうか。
答．自治体が民間やＮＰＯ等が行うツアーの後援や補助を実施している場合は、自治体が実質的に旅行の企画・運営に関与していると認められ、かつ、営利性、事業性がないと総合的に判断される程度のものである場合、旅行業法の適用を受けません。

＊～＊～＊～

＊～＊～＊～